

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第6報 ～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成15年5月12日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Uroglena americana*  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



*Polyarthra vulgaris*  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、淡水赤潮の原因となるウログレナ (*Uroglena americana*) がさらに増加し、例年のピークの細胞数に達した。琵琶湖でも細胞数の増加が考えられる。動物プランクトンは、ワムシが多くなった。ハネウデワムシの他にドロワムシも多かった。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	640

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Synchaeta stylata</i>	360

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

## (2) 植物プランクトン

平成15年5月12日

第6報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	9900		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	20		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	100		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	63		
(珪) <i>Fragilaria</i> sp.	60		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	85		
(珪) <i>Synedra acus</i>	35		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	20		
(珪) <i>Cymbella ventricosa</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	30		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	340		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	9930	92.1	82.1
(珪) 珪藻綱	383	3.6	10.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	30	0.3	0.3
(褐) 褐色鞭毛藻綱	440	4.1	7.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	0	0.0	0.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	10783	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	3.10E+06
種 類 数	14		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は \*が第1優占種、 \*が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。